

看護協会だより

# 看護ぎふ

Vol.95

KANGO GIFU 2020.1.15



冬の下呂(下呂市) 撮影：岐阜県立看護大学 宗宮 真理子  
雪の美しさと朝の澄んだ空気に思わず息をのみました。

## CONTENTS

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ◆ 会長 年頭あいさつ …………… 2      | ◆ 四職能合同研修会 …………… 8       |
| ◆ 理事会報告 …………… 3          | ◆ 特定行為研修修了者の活動報告 …………… 9 |
| ◆ 選挙管理委員会からのお知らせ …………… 3 | ◆ 子年生まれの皆さん紹介 …………… 10   |
| ◆ 第8回 岐阜看護学会 …………… 4・5   | ◆ リフレッシュタイム …………… 11     |
| ◆ 職能委員会活動報告 …………… 6・7    | ◆ お知らせ …………… 12          |
| ◆ ひまわり褒章2019受賞 …………… 8   |                          |



■発行/令和2年1月15日 公益社団法人 岐阜県看護協会  
岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階  
TEL.058-277-1008 FAX.058-275-5300  
URL: <http://www.gifu-kango.or.jp/> E-mail: [gifukango@gifu-kango.or.jp](mailto:gifukango@gifu-kango.or.jp)  
■編集責任者/石山 光枝 ■印刷/株式会社イナハ印刷社

## 年頭のご挨拶



公益社団法人  
岐阜県看護協会  
会長 石山光枝

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

「令和」新年号として、「看護協会だより 看護ぎふ」の発刊となりました。この「看護ぎふ」は、広報出版委員会の方々が他の都道府県看護協会の機関誌も参考にしながら会員の皆様にしっかり読んでいただけるように、内容を検討していただいております。どうぞ、毎回楽しみにしていただければと思います。

令和2年、2020年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年です。1964年に開催した東京オリンピックから56年の年月がたち、日本開催が世界の注目を集めます。また、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者(75歳以上)に達することにより、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念されている「2025年問題」はすでに始まっており、地域包括ケアシステム構築は各自治体の最重要課題となっています。

私は近い将来を見据えて、岐阜県看護協会が取り組むべき課題を次の3点と考えています。

第1に訪問看護の質の向上です。すでに「岐阜県看護協会立訪問看護教育センター」を訪問看護ステーション各務原に併設する予定で進めていますが、そこを拠点として訪問看護人材育成を系統的に展開する必要があります。また、認定看護師や特定行為研修修了者が訪問看護で活躍するために更なる教育やフォロー体制が必要とされると考えます。

第2に支部活動の細分化と統合です。地域包括ケアシステムは基本的には市町村単位で展開されます。地域包括ケアシステムの中で看護職の連携を促すためには、医療圏で分割された支部をさらに市町村単位での活動に細分化する構想も必要と思われます。市町村が課題とする住民の健康・福祉状況を、病院で働く看護職と訪問看護師、保健師が共有し、連携のもとに解決していった具体例を支部活動で共有し統合していくことこそ、これからの時代に求められる姿と考えます。

第3に准看護師の方々に一人でも多く働く場所を提供し、人材育成をすることです。岐阜県には9校の准看護師養成校があり、毎年360人程度が卒業します。今年度の病院の看護師確保定着等に関する調査結果では、県内69病院で43名の常勤、11名の非常勤の採用にとどまりました。それ以外にも県内のクリニックや介護施設等への就職、県外での就職もあると思います。しかしながら18歳人口が減少する中、こうした准看護師は将来的には貴重な人材になると思います。今後、准看護師養成のカリキュラム改正があり、全人的に対象をとらえる力やチーム医療の中での役割などを学んできます。これらを受け、慢性期医療の看護職従事者として卒後教育の一層の充実が必要と思われます。

皆様方にとって、この1年が益々のご発展とご活躍の年となりますことを祈念いたしますとともに、引き続き岐阜県看護協会へのご理解、ご協力をお願いし、年頭に当たってのあいさつといたします。



# 理事会報告

## 令和元年度 第6回理事会 令和元年10月24日(木)

### □ 決議事項

- 第1号議案 令和元年度会員入会の承認について（承認事項）  
承認会員数121名（承認後会員数 12,234名）
- 第2号議案 令和元年度補正予算について  
事業名 法人会計  
1) 第1次 法人会計補正予算

○すべての議案は承認、可決されました

## 令和元年度 第7回理事会 令和元年12月12日(木)

### □ 決議事項

- 第1号議案 令和元年度会員入会の承認について（承認事項）  
承認会員数100名（承認後会員数 12,270名）
- 第2号議案 公益社団法人岐阜県看護協会 講師等謝金規程の一部改正について
- 第3号議案 訪問看護ステーション各務原の移転整備及び訪問看護教育センターの併設整備について
- 第4号議案 特定資産取得・改良資金の保有及び積立期間の変更について

### □ 協議事項

- 令和2年度重点方針・重点事業について
- 令和2年度「看護の日岐阜県大会」実施要項（案）について
- 令和2年度理事会・四役会・支部長会・合同委員会開催日について

○すべての議案は承認、可決されました

## 令和2年度改選役員及び推薦委員 令和3年度代議員への立候補について

### 〔選挙管理委員会からのお知らせ〕

改選役員および推薦委員、代議員等の選挙を実施しますので、立候補及び受付期間等についてお知らせいたします。

令和2年1月15日

令和2年度改選役員等	
改選役員・定数	理事11名（会長、副会長、専務理事、保健師職能理事、看護師職能1理事、岐阜南地区理事、西濃地区理事、中濃地区理事、東濃地区理事 各1名、常務理事 2名） 監事2名（本会の業務運営に精通した者、会計制度に精通した者 各1名）
改選推薦委員・定数	推薦委員 3名
選挙期日・場所	令和2年6月18日（木） 令和2年度定時総会 於：サラマンカホール
令和3年度公益社団法人岐阜県看護協会代議員等	
代議員 定数:121名	補欠代議員 定数:62名
選挙期日・場所	定時総会と同じ時期（定数を超えた場合のみ） 対象支部正会員による郵便投票
立候補の届出方法	立候補届出書に記入の上、正会員5人以上の推薦書を付けて、選挙管理委員会あてに郵送ください。
令和3年度公益社団法人日本看護協会代議員等	
代議員 定数:12名	予備代議員 定数:12名
選挙期日・場所	令和2年6月18日（木） 令和2年度定時総会 於：サラマンカホール
立候補の届出方法	立候補届出書に記入の上、選挙管理委員会あてに郵送ください。

届出締切日 令和2年4月18日（土）必着

立候補届出書等請求先・お問い合わせ先 公益社団法人岐阜県看護協会 総務課 電話058-277-1008

## 第8回 岐阜看護学会

### メインテーマ『その人らしい生き方を支える看護』

開催日：令和元年12月7日(土) 場所：岐阜県県民ふれあい会館 参加者：198名

令和元年12月7日(土)に岐阜県県民ふれあい会館で第8回岐阜看護学会が開催され198名の参加がありました。メインテーマを「その人らしい生き方を支える看護」とし、特別講演、ランチョンセミナー、研究発表が行われ多くの皆様の協力を得て盛会に終了することができました。



岐阜看護学会委員長あいさつ



学会長あいさつ



#### ●特別講演

「その人らしい生き方を支える医療・ケア・アドバンス・ケア・プランニング」と題し、京都大学大学院医学研究科准教授の竹之内沙弥香先生に、患者や家族への意思決定支援における看護の役割、看護師がアドバンス・ケア・プランニング(ACP)を支援する際の要点などについて講演をしていただきました。会場からも活発な発言、質問が出され、ACP支援実施で臨床家が抱えるジレンマやACPを実践するコツについて、理解を深める機会になりました。





## ●ランチョンセミナー

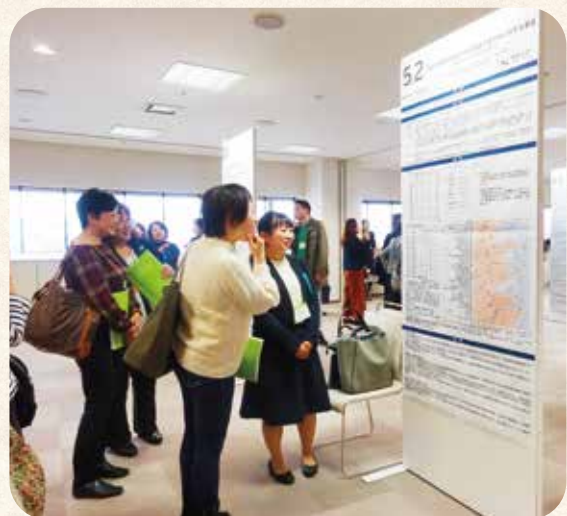
金沢医科大学病院 医療安全部  
感染制御室課長の野田洋子先生から、「来ていますか?患者の命を守る  
血管内留置カテーテル管理」と題して、感染対策の大切な課題ですぐに  
実践に結び付けられる具体的な講義  
をしていただきました。



## ●研究発表

口演14題、示説9題の演題発表が行われました。

テーマは、“人材育成”“高齢者看護”“訪問看護”“看護基礎教育”など多岐にわたり、日々の看護実践への  
取組についての発表でした。参加者との活発な質疑応答、意見交換がなされました。



来年度は、令和2年12月5日(土)を予定しております。  
多くの方の演題登録およびご参加をお待ちしております。



# 令和元年度 職能委員会活動報告



## 保健師職能委員会

今年度の重点方針として「看護職の専門性の推進 保健師に対する現任教育の実施状況に即した、人材育成及びキャリア形成の推進」を掲げ、委員会活動を進めています。

昨年度すべての県内市町村に対して実施した「保健師教育体制に関する実態調査」では、ほとんどの市町村が県のプログラムを使用して人材育成の推進を進められていました。しかし、各市町村の特性に応じた教育体制の構築まではなかなか至っていない現状が明確になりました。

そこで、今年度保健師職能委員会としては、人材育成を推進するため研修会の開催を計画しました。8月には、開始から10年が経過した「特定保健指導」のより効果的な指導を進めるため、保健指導の大きな役割を占める栄養指導について、管理栄養士を招き最新の知識の習得の機会を持ちました。体の仕組みを熟知して指導を進めることはもちろんですが、新たな情報を得ることは大切だと考えます。今年度はもう一回、2月にさまざまな部門で活動している保健師の意見交換会を計画しています。

ぜひ参加してください。



保健師職能委員長  
岐阜県市町村職員共済組合  
鈴木 ひろみ



## 助産師職能委員会

今年度の重点事業である「看護職の専門性の推進」として、母子保健活動における助産師と保健師の連携強化を図るために、保健師職能委員会と合同研修会や合同会議を行っています。地域における母子保健活動の現状や多職種連携のあり方について知見を拡大するとともに、施設で働く助産師の地域連携の実情を把握するための実態調査の準備を進めています。

2015年から始まったCLoCMiP®レベルⅢ認証制度で、県内でアドバンス助産師と認証されたのは255人となりました。アドバンス助産師のレベル保持のため5年毎の更新制をとっており、2020年には2015年に認証を受けた人が更新となります。日本助産評価機構から更新申請要件などが提示されていますが、具体的な内容が周知されていないのか、更新を諦める声が聞かれます。助産師の専門性を発揮する機会として、一人でも多くのアドバンス助産師が更新することができるよう働きかけていきたいと考えています。

本年もご協力をお願いいたします。



助産師職能委員長  
岐阜県総合医療センター  
田口 路代





## 看護師職能委員会 I

地域包括ケアシステムの推進により、病院施設で働く看護師は大きく影響を受け、役割の整理や拡大などが日々の看護業務において身近なものになってきていると実感します。また、働き方改革における影響も受け、ワーク・ライフ・バランスを各自でコントロールする重要性や必要性もひしひしと感じる今日この頃です。

そのような状況の中、看護師職能委員会 I の活動として、今年度は看護管理者だけではなく現場の声をタイムリーに集め、課題発見・意見集約を行う活動をしています。

ワーク・ライフ・バランスは、個人の考え方・働き方の問題でもあります。休日など休みを充実するだけでなく、仕事のやりがいや満足度についても調査し、看護師のキャリア支援を目的としました。

皆さまからいただいた調査結果は、職能集会等で公表していきます。看護師として活躍する期間はどんどん延長され、働く場も多様化しています。皆さま一人ひとりの今後の看護キャリアの形成に少しでもお役に立つことができれば幸いです。

引き続き活動へのご理解・ご協力を賜りたいと存じます。



看護師職能委員会 I 委員長  
朝日大学保健医療学部看護学科  
武藤 英理



## 看護師職能委員会 II

高齢者施設、在宅等領域の看護師職能委員会 II では、医療機関等と連携し切れ目のない安全、安心なケアを提供し、暮らしを支える看護職の質の向上が重要な課題になっています。前年度の活動として、高齢者施設における看護職員の現任教育の実態調査、看護師クリニカルラダーを活用するための研修、症状別マニュアルの見直し、看護師職能委員会 II のリーフレットの作成を行ってきました。



今年度は前年度の活動を踏まえ、看護師クリニカルラダーを活用した施設における現任教育プログラムの作成と、集合研修時等に看護師職能 II のリーフレットを渡し、施設・在宅系の協会会員増加活動に取り組んでいます。地域包括ケアシステム構築のさらなる推進に向け、地域の医療と介護の連携ができるよう組織化し、看護職が在宅・施設で安全に看護実践できるように活動したいと思います。引き続き活動のご理解とご協力をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



看護師職能委員会 II 委員長  
白川病院  
亀山 博子



# 「ひまわり褒章2019」を受賞しました

ひまわり褒章は、母子保健や子育て支援の分野を中心に、大きな功績のあった方々に贈られる賞です。今回、日本看護協会からの推薦により、石山会長が表彰されました。



## 日本看護協会委託事業 令和元年度看護政策推進のための組織強化事業 「四職能合同研修会」を開催しました。

テーマ「地域まで視野を広げた看護管理の実際 ～JNAマネジメントリーダー～」

令和元年12月14日(土)に保健師、助産師、看護師I・IIの職能委員会合同で「四職能合同研修会」を岐阜県看護協会特別研修室で実施しました。参加者は151名でした。

地域包括ケアシステムの推進により、地域の病院、訪問看護ステーション、介護施設の看護管理者の役割は大きく変化拡大し、より連携が必要となっています。

地域の中で、看護管理者の果たすべき役割、期待される役割と必要な能力について看護管理者のマネジメントリーダーと関連付けて理解することを目指し、講師に湘南医療大学看護学科准教授 塩田美佐代先生をお招きしました。

内容は、地域を視野に入れた看護管理の活動の実際として、ご自身の体験から、看護管理者の繋



がり方、多職種連携のための体制整備の仕方などについて具体的に詳しく話してくださいました。先生から「広い視野を持ち、新たなものごとへ挑戦する」ためのエネルギーを充電していただきました。



# 特定行為研修修了者の活動報告

## ①受講のきっかけ、受講しての感想

当院は岐阜県の基幹病院であり、特定行為研修の指定研修機関としての役割が求められていました。私は平成28年、看護部から特定行為研修の指導者となることを期待され、自身も指導者としてだけではなく、院内の看護の質を向上させるために、役割拡大を図りたいと考え受講しました。

受講後、多職種の思考を言語化できることが多くなり、臨床実践・教育に活かせていると実感しています。



## ②現在の活動内容



私は救急看護認定看護師として、高度救命救急センターに所属していますので、人工呼吸器の使用期間の短縮や、病状に合わせた鎮静管理を目標に取り組んでいます。これらの活動をする際、特定行為手順書をもとに、研修で身に付けた臨床推論、薬物動態学など多職種の思考過程を活用しています。また、特定行為実習生を受け入れ、指導者として関わる機会もいただいています。

## ③今後、どのように活動したいか

特定行為には、患者さんに苦痛を与える行為もあり、安全に実践するためには、病状の的確な診たて、正確な判断が不可欠です。多職種の方々から指導をいただき、最善な思考・判断・実践ができるよう努力していきます。また、研修生の学びがより良いものになるよう、私自身が大学院で教育学について学び始めました。今後は、この学びを活かし指導者としての役割が果たせるよう努めていきたいです。

【モデル・領域】 救急・集中ケアモデル

【修了区分】 呼吸器(気道確保に係るもの)関連  
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連  
動脈血液ガス分析関連  
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連  
循環動態に係る薬剤投与関連



# 子年生まれの 皆さん紹介



新年にあたり今年の抱負を寄せて頂きました



市立恵那病院

**永井 亜湖**

育児と仕事の両立に悪戦苦闘の毎日。家族・職場のスタッフ、たくさんの人に支えられながら仕事ができています。一緒に頑張ってくれる仲間のスタッフと患者さん、ご家族の思いに寄り添い、一人ひとりに合わせた看護の提供ができるよう力を合わせて頑張りたいです！



山内ホスピタル

**森本 美貴**

どんな時も笑顔を忘れず、多くの患者さん・ご家族にも笑顔になってもらえる看護をしていきたいです。



澤田病院

**三宅 かおる**

節目である還暦を迎えます。仕事では「働きやすい環境作り」、プライベートでは「家族の健康」に気を配りたいと思います。



木沢記念病院

**竹内 里藍**

いつも笑顔を忘れず、患者さんの思いに寄り添うことのできる看護師を目指して、日々努力していきたいと思えます。



大垣徳洲会病院

**神崎 栄加**

昨年は、看護研究に取り組み認知症について深く学んだため、今年は実践に活かしていきたいと思えます。



山田病院

**箕浦 中かり**

10月から役職に就き、責任を持つ立場になりました。子供は4歳になり、子育てと仕事の両立を頑張ります。



近石病院

**置田 姿帆**

看護師となり数十年経ちますが、今年は初心に戻り患者さんの気持ちに寄り添えるような看護をしていきたいと思えます。



国保白鳥病院

**鷺見 美鈴**

年女5周年です。多くの方に支えられ今まで仕事を続けられたことに感謝します。これからも感謝の気持ちを大切に働きます。



愛生病院

**小林 千鶴**

今年は還暦を迎えます。振り返れば看護の道に進み、早45年、今後は身体をいたわりつつ、老年看護に携わりたいと思えます。





# リフレッシュタイム



## 『ベリーダンスでノンストレス』

朝日大学病院 石原 玲香



私がベリーダンスを始めたきっかけは、たまたま見つけた動画を見てなんて妖艶で美しい踊り、なんてきらびやかな衣装、私もやってみたいと思ったからです。そんな好奇心からの習い事も8年になりました。ベリーダンスとは不思議なもので自己の開放、踊るとスッキリ、自然とストレスがなくなるのです。全国的にも医療関係者が多い習い

事の一つであり、海外では心療内科の治療としても用いられています。仕事で疲れた時こそ踊りたくなくて、踊るとスッキリして明日も仕事を頑張ろうと思います。私はこれからも師の教えである、「女性が女性らしく美しくなれるベリーダンス」を続けていきます。



## 『情熱のフラメンカ』

博愛会病院 田中 希美子

フラメンコを習い始めて12年目になります。

カルチャーセンターから始め、今は名古屋のフラメンコスタジオで月3回レッスンを受けています。レッスン中は嫌なことも全て忘れられ、ストレス発散になります。月1回名古屋のスペインバルではフラメンコライブにも参加し踊らせていただいています。踊り・歌・ギターが三位一体となり、とても奥が深く、情熱的で魂を込めて全身全霊で喜怒哀楽を表現するフラメンコが大好きです。

これからも仕事あつての趣味と心得て、上手く仕事と両立させ、できる限り続けていきたいと思っています。



# 2020年度継続のお知らせをご確認いただけましたか？

継続会員の方は変更がなければ手続き不要で**自動継続**となります。  
 変更がある場合は **キャリアナース** より変更、もしくは会員情報変更届をご提出  
 ください。( **キャリアナース** からの変更が早くて便利です!)



会費納入の手続きは2020年度開始前(2020年3月31日まで)にお願いいたします。

※「口座振替」の方は、初回引落日が1月27日(月)となります。

(継続入会をしない場合でも退会届をご提出いただかない限りは会費の引き落としがされます)

※「施設とりまとめ」の方は、各施設の案内にしたがってお支払いください。

## ●施設とりまとめご担当者様●

会費を施設で取りまとめて振り込む施設は、2020年度開始前(2020年3月31日)までに振り込みを  
 お願いいたします。

※施設用WEBにて会費納入対象者の特定作業をお忘れなく!

施設用WEBを利用していない場合は、会費納入対象者を県協会までご連絡ください。

**2019年度の入会も随時受け付け中です。**  
 (お急ぎの場合はWEB入会をご利用ください)



キャリアナースは岐阜県看護協会ホームページのバナー、もしくは  
 右記のQRコードよりご確認ください。WEB入会もこちらから。



**Nursing now**

看護の力で健康な社会を!

### Nursing Nowとは

看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的な  
 キャンペーンです。世界保健機関(WHO)と国際看護師協会(ICN)が連  
 携し、Nursing Nowキャンペーン理事が運営しています。

ナイチンゲール生誕200年となる2020年末までキャンペーンを展開  
 します。

看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り  
 組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動します。

### Nursing Nowキャンペーン実行委員会

[https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing\\_now/nncj/index.html](https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/index.html)



## 協会の動き

### ◆看護協会会員数

<令和元年11月20日現在>

保健師	.....	423名
助産師	.....	440名
看護師	.....	10,837名
准看護師	.....	570名
合計	.....	12,270名

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
 ご多忙の中、看護協会だよりにご寄稿くださいました  
 方々、誠にありがとうございます。  
 私たち広報出版委員会では、会員の皆さまに役立つ情  
 報をお届けできるよう今年も活動してまいります。皆さま  
 からのご意見・ご要望をお待ちしております。  
 本年も皆さまにとって幸多き年となりますよう祈念いた  
 します。

近藤 春美

広報出版委員会  
 委員長 川幅 美紀  
 委員 近藤 春美 水野 紀代美 近藤 真衣 小野 仁美